

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 6 月 10 日 更新

事務事業名		工業用水道建設改良事業（施設・管路）				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康				所属部	水道局	課長名	緒方 寿雄
	施 策	20	水の安定供給と排水の浄化				所属課	水道課	担当者名	鍋田 将文
	施策の柱	60	水の安定供給				所属班	水道班	(内線)	5242
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法、市工業用水道事業給水条例		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 29 年度) ☐ 期間限定複数年度			

★事務事業の概要（PLAN）

【事業の内容】	セミコンテクノパーク内の工業用水道の配水池等の施設及び管路整備を行う。
【業務の流れ】	工業用水道の配水池等施設及び管路整備のための工事発注等業務、用地取得が必要な場合は用地交渉事務、測量設計委託契約、実施設計書の作成、道路占用申請、工事請負契約の締結、配水池等整備工事、竣工検査、工事費等の支払事務
【主な予算費目】	款)1. 資本的支出(項)1. 建設改良費(目)1. 営業設備費(節) 工事請負費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
既存設備に緊急を要する事象が発生した際に工事を行う		機械、電気設備及び配水管工事、取水ポンプ取替工事など	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
ア 工業用水道配水等施設数	箇所	増減なし	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
工業用水道使用者	社	ア 工業用水道使用事業者数	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
安全で良質な工業用水を安定的に使用できる。	%	ア 工業用水道使用事業者のうち安全で良質な工業用水道を安定的に使用できた割合	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
安定した工業用水道の供給が出来た割合			全体計画
			～ 年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標		箇所 アイ	3	3	3	3	3	3	3	3	
② 対象指標		社 アイ	7	7	7	7	7	7	7	7	
③ 成果指標		% アイ	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	4,389	2,860	4,400	4,400	250,000	4,400		
		繰入金	千円								
	費	一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	4,389	2,860	4,400	0	4,400	250,000	4,400	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	5	1	6	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	50	225	10	230	10	0	0	0
	(B) 人件費計		千円	195	856	39	837	39	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	4,584	3,716	4,439	837	4,439	250,000	4,400	0

事務事業名	工業用水道建設改良事業（施設・管路）	所属部	水道局	所属課	水道課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度も引き続き漏水調査等を行い、順次改修を行っていく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 現時点で配水能力の90%を超える契約があっているため、今後新たに大量に工業用水道を利用する企業がでてくれば、新たな配水施設や水源地の確保が必要となる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 工業用水道の水源地・配水池の整備等を行う類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 設計及び工事の詳細について関係各課を含め打合せ協議を行い、必要最小限の予算で事業を行う。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 他事業（水道）との兼務で業務を行っており、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 すべての工業用水道使用者に受益機会があり、同様に費用負担があるので公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が企業誘致した工業地域における事業であり、市が行うべき事業であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

工業用水道施設の老朽化が進んでいく上で、計画的な更新工事を行い、使用者へ安定した供給ができるよう取り組んでいく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"> </td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								